

みさき

83号

美咲町議会だより

2026年2月10日発行



議会HPへアクセスします



MISAKI_CHO_GIKAI_OFFICIAL

インスタ始めました!



〈特集〉 みんなで選挙に行こう!.....②～③

主な内容 こんなことが決まりました.....④～⑤

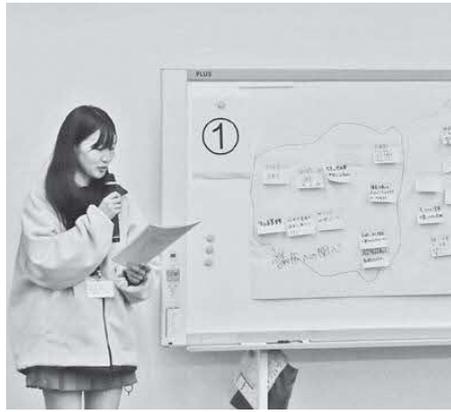
11議員が町政を問う.....⑨～⑮

議員研修・式典参加.....⑮～⑲

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

表紙関連記事19ページ

大きく育て美咲の子ども 町の未来はみんなの手の中
美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>



第1部 講演会

フォーラムとしての議会（開かれた討議空間の創出）

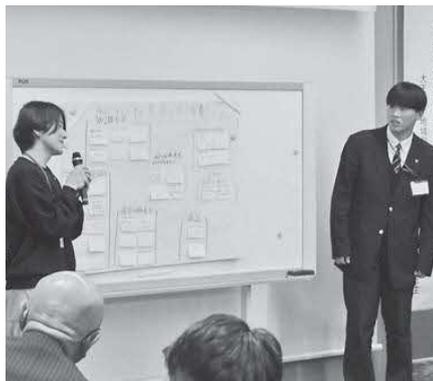
11月29日、美咲町役場において第1回美咲町議会フォーラムを開催しました。フォーラムには町内在住者、美作高校と美作大学の学生、他自治体の議会議員など、約70人にご参加いただきました。大正大学地域創生学部公共政策学科：江藤俊昭教授に「投票率の低下は自治体の衰退につながる大きな危機」と題してご講演をいただいた後、意見交換会を行いました。



議会全員研修会

一般質問・議員間討議から政策提言へ （その質問、何のため？）

フォーラム当日の午前中は、江藤俊昭教授を迎え議員研修会を行いました。一般質問の意義と議案審議の重要性、議員間討議と討論の充実、住民に開かれたフォーラムとしての議会などについて強調され、質問力と議会力の相乗効果で政策提言へつなげる手法をご教授いただきました。（詳細は16ページに掲載）



第2部 意見交換会

主権者意識の醸成と選挙投票率の向上について

参加者は7班に分かれ、「主権者意識の醸成と選挙投票率の向上」をテーマに意見交換を行いました。参加者全員が活発に意見を出し合い、学生が意見を取りまとめグループごとに発表し、江藤教授からご講評をいただきました。

こんな意見がありました

- 議員が地域に出向き、住民と議員の対話の場を充実させることが大事。
- 高齢者や障がい者のための投票所への移動手段の確保が必要。
- 若者層に対しSNSを活用して選挙に関心を持ってもらう。



議会アンバサダーを委嘱

議会フォーラムに参加していただいた美作高校、美作大学の学生および学校関係者に、意見交換会への参加や情報発信を担う議会の応援団として「議会アンバサダー」の委嘱状を合わせて19人に手渡しました。

条例

農業振興基金条例の制定

町の農業活性化および持続可能な農業の推進などに資するため、新たな基金を創設する。

農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の一部改正

農業委員会委員の定数を17人に、農地利用最適化推進委員の定数を17人にそれぞれ見直すため条例を改正する。

非常勤職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

農業委員会委員および農地利用最適化推進委員の報酬額を見直すため条例を改正する。

消防団条例の一部改正

非常勤消防団員の報酬等の基準に基づき消防団員の出勤報酬の支給額を改正するため条例を改正する。

職員の給与に関する条例の一部改正

令和7年人事院勧告に基づき関係条例の整備を行う。

観光施設省エネ化

電気代の高騰などに対応するため観光施設の照明設備LED化や省エネエアコンなどの施設整備を行う。

〔省エネ化事業費 400万円〕



全町民に商品券1万円支給

物価高騰に対する住民の生活を応援するため1人1万円分の商品券(かけはし)を全町民に支給する。

〔生活応援事業費 1億3,070万円〕



柵原総合支所の部分改修

柵原総合支所の老朽化に伴い部分的な改修工事を計画的に実施していく。

〔支所維持補修費 200万円〕



分譲地整備に向けた調査

町内各地に予定している分譲地の整備に向けて測量や調査を実施する。

〔用地取得造成費 506万円〕



12月議会

でこんなことが
決まりました

物価高騰重点支援として

令和7年12月1日から12日まで定例議会、12月25日に臨時議会が

社会福祉施設を支援

介護保険法の改正による収入減少により経営が圧迫されている社会福祉施設などに対して支援金を給付する。

〔社会福祉総務費 1,174万円〕



子育て応援手当

0歳～高校生年代までの児童手当支給対象の子どもに1人あたり2万円の子育て応援手当を支給する。

〔子育て世帯福祉費 3,520万円〕



○は賛成 ×は反対
(議長は採決に加わりません)

議案第125号	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の改正	議長	松島議員	山本宏議員	松田議員	延原議員	左居議員	小林議員	藤井議員	山本資議員	板垣議員	矢吹議員	三船議員	大天議員	江原議員
		議長	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

議案第125号	総務産業常任委員会の審査結果は承認	【議案に反対】委員の定数を大幅に減員することは農地の保全に支障を来す恐れがある。さらに現職委員などへの説明が不十分であるため議案に反対する。	延原議員 藤井議員
		【議案に賛成】農業を取り巻く状況が急速に変化している中で関係法令の基準に基づいて見直されるものであり、今後の活動強化に期待して議案に賛成する。	山本資議員 山本宏治議員

意見の分かれた議案

契約

◎契約の提案があり審議の結果、全会一致で承認した。

〔工事請負契約〕

◇飯岡地区ポンプ場整備工事(飯岡)

(株)杉本建設(美咲町)

7,907万9,000円(税込)

◇飯岡地区ポンプ場排水設備工事

(飯岡)

(株)戸板組(美咲町)

1億6,863万円(税込)

◇飯岡地区ポンプ場電気設備工事

(飯岡)

ミツワ電設(岡山市)

7,315万円(税込)

〔財産の取得〕

◇飯岡地区排水ポンプ購入(飯岡)

備商(株)(岡山市)

9,130万円(税込)

〔工事請負契約の変更〕

◇飯岡コミュニティセンター新築

工事(飯岡)

ライフデザイン・カバヤ(株) | 株

ベン建築設計共同企業体(岡山市)

5億9,768万3,900円(税込)

5億9,768万3,900円(税込)

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、税務課、上下水道課、産業観光課、建設課、みさき共創室、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。
委員長／左居喜次 副委員長／山本 資 委員／江原一夫、大天嘉行、延原正憲、松田英二、山本宏治の7人で審査しています。

【総務課】 物価高騰対策

問 国会で審議されている物価高騰対策交付金の議案提出はいつになるのか。

答 一部を定例会最終日に、その他は年内に臨時議会を開催して提案したい。

【理財課】 柵原クリーンセンター解体

問 柵原クリーンセンター解体工事費が増額された理由は何か。

答 最終処分場からの浸出水成分が基準値以下となり水処理施設を撤去するため。

【くらし安全課】 消防団員の出勤報酬

問 消防団員の出勤報酬は令和8年以降どのように改正されるのか。

答 これまで1日2,000円の報酬を出勤4時間以内4,000円、1日最大で8,000円に改める。



(原田地内)

12月9日、総務産業常任委員会では、公共施設集約化事業で進めている公共施設解体撤去工事の状況を確認するため現地視察を行った。

【みさき共創室】 なんでも鑑定団誘致

問 なんでも鑑定団の誘致に対して県補助金の対象になった経緯は。

答 当初は単独事業で計画していたが美作県民局と交渉した結果、1/2補助に決定した。

【産業観光課】 農業委員の定数変更

問 農業委員会委員と農地利用最適化推進委員の定数はどう変わるのか。

答 農業委員会委員18人を17人に、農地利用最適化推進委員28人を17人に変更する。

【上下水道課】 水道施設の落雷被害

問 補正予算で多額の修繕費が計上されているが主な要因は何か。

答 町内の水道施設で落雷による被害が多発しており、制御盤、水位計などの機器を修繕する。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民生活課、保険年金課、健康推進課、福祉しあわせ課、こども笑顔課、教育総務課、生涯学習課、各総合支所地域振興課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／小林達夫 副委員長／藤井智江 委員／三船博之、矢吹一郎、板垣正寿、松島 啓の6人で審査しています。

【住民生活課】 町営住宅の修繕

問 町営住宅の修繕費が計上されているが対象施設はどこか。

答 柵原地域の藤田上住宅と吉ヶ原住宅を修繕して完成後に入居募集を行う。

【保険年金課】 高額療養費の増額

問 国民健康保険の高額療養費が大幅に増額されたのはなぜか。

答 入院費や薬剤費が昨年比べて約1,000件程度増加したため増額した。

【教育総務課】 ICT教育の効果

問 タブレットやモニターなどのICT機器を使用した教育の効果は。

答 タブレット、電子黒板、プロジェクターなどの授業効率は非常に大きなメリットになっている。



(百々地内)

12月4日、民生教育常任委員会では、社会教育施設における指定管理の状況を確認するため現地視察を行った。

【生涯学習課】 指定管理の委託期間

問 提案された指定管理の委託期間が1年になっているのはなぜか。

答 それぞれの施設が老朽化しており今後の状況を踏まえての対応である。

【福祉しあわせ課】 障害児福祉が増加

問 障害児への福祉サービスは年々増加傾向にあるのか。

答 児童発達支援の利用者が増加しており早期発見・早期支援の体制を整えている。

【こども笑顔課】 中央児童館の備品購入

問 児童館の備品購入費を増額しているが何を購入するのか。

答 中央児童館の備品が老朽化したため机10台と椅子30基を購入する。

委員会 の活動

広報・広聴常任委員会からの報告

議会広報・広聴常任委員会は、町民の皆さんに議会の活動をお知らせし、議会に対する理解を深めてもらう活動を担当しています。

委員長／板垣正寿 副委員長／松田英二 委員／江原一夫、三船博之、山本 資、藤井智江の6人で運営しています。

■ 出前議会 美咲町老人クラブ連合会柵原支部



11月5日、美咲町老人クラブ連合会柵原支部への出前議会が美作市内で開催され、幹部31人にご参加いただきました。議長と当委員会委員を中心とした9人の議員が出席しました。議会だよりをもとに議会活動を報告した後、意見交換を行いました。

こんな意見がありました

- 老人会の担い手不足に困っている。老人が集う居場所確保は重要。
- 耕作放棄地の解消や農業支援について対策をお願いしたい。
- 小規模多機能自治の町内で参考になる取り組み事例を知りたい。

■ 出前議会 久米郡商工会



12月17日、久米郡商工会にて出前議会が開催され、美咲町議会議員全員が出席しました。久米郡商工会会員10人と「商工業者の現状と将来～この地域で暮らし続けられるのか～」というテーマで活発な意見交換を行いました。

こんな意見がありました

- 町の商工業者には後継ぎが少ない。地方の取り組みだけでは限界。
- 商工業者向けの設備投資しやすい補助制度の整備が必要ではないか。
- 商工業者と行政担当課が話し合いを密にできる関係性が望ましい。

出前議会では皆さまからお寄せいただいたご意見は、全議員で共有し、調査研究を重ね、政策提言へとつないていきます。

町政を問う

日本初の従軍記者

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

盲啞学校の創設者

ページ	議員名	質問内容
10	左居 喜次	◎ 県北地域の救急医療体制の充実を ◇ 地域公共交通における担い手の確保を
10	山本 宏治	◎ 今後の農業後継者問題を考える
11	延原 正憲	◎ 美岡道路関連事業で地域活性化を
11	矢吹 一郎	◎ 集約化事業後の跡地活用計画は
12	三船 博之	◎ 補助金の見直しは進んでいるか ◇ どうなる第四次振興計画 ◇ 職員の業務・職場環境改善を
12	山本 資	◎ こども家庭センターの設置を ◇ 森林施策の今後の展望は

ページ	議員名	質問内容
13	松田 英二	◎ 道路維持管理の予算拡充が必要
13	江原 一夫	◎ 農機具購入への補助金創設を ◇ 国道53号改良工事の状況は
14	板垣 正寿	◎ 通学路の安全確保の徹底を ◇ 危険木伐採事業の見通しは ◇ 「森の芸術祭」の次期開催の方針は
14	大天 嘉行	◎ 指定管理料の整合性は ◇ 農業に対する補助金事業は ◇ 美咲町の偉人のPRを
15	藤井 智江	◎ 子どもの権利に関する条例制定は ◇ 町政が十分住民に届いているか ◇ 手話通訳士の雇用はできないか

議会だよりには、1問掲載
しています。
各議員の質問については、
誌面のQRもしくは
美咲町YouTubeチャンネルで
確認していただけます。



左居喜次(さこ よしつぐ)議員

質問

県北地域の救急医療体制の充実を

答弁

持続可能な体制の構築を目指す



予期せぬ病気・けがの相談窓口
しやーぶないちいちきゆう
迷ったら#7119へ電話を



問 岡山県北部では、救急車に乗った後にも受け入れ先が見つからず、1時間以上搬送が滞る事態が実際に起きている。

住民にとっては、命の危機に直面しながら安心して医療を受けられないという、極めて深刻な状況である。

県北地域の救急医療体制の充実を図るべきではないかと考える。医療機関の不足により人命が失われることのないよう、自治体としての具体的かつ実効性ある対応を強く求める。

答 青野町長 救急搬送された人の約半数は軽症者であり、これも大きな課題である。

本年10月から岡山連携中枢都市圏の取り組みとして「救急安心センター#7119」事業を開始し、救急の判断に迷った際の電話相談窓口を設置している。

救急医療は、誰にでも、いつ起こるかかわからない身近な問題であり、行政として重要な責務ととらえている。

今後、あらゆる対策を講じて、持続可能な救急医療体制の構築を目指していく。

質問

今後の農業後継者問題を考える

答弁

新規就農者に支援制度を強化する



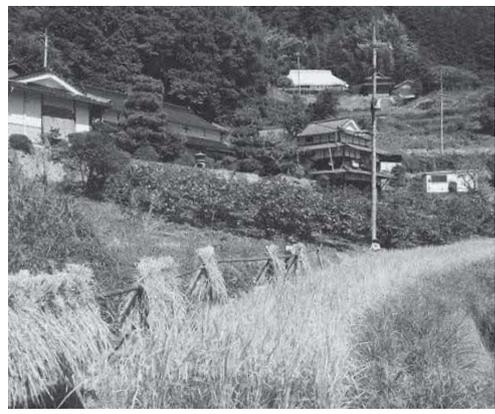
山本宏治(やまもと こうじ)議員

問 高齢化と担い手不足で、農業後継者不足が懸念される。農地・機械・施設だけでなく、栽培方法や経理・管理・販路などのノウハウを親族以外の第三者の継承希望者に受け渡す「第三者継承事業」への取り組みは考えられないか。

答 青野町長 本町でも今後、農業者数が減少することを懸念している。町では次世代の農業を担う人材の育成・確保のために新規就農者への相談対応を行い、就農希望者の確保に努めている。

答 米本産業観光課長 経営発展支援事業では、新規就農者に月額12万5,000円の助成を最長2年間行っており、7年度には5人が新規に就農している。

答 有元農林政策監 第三者継承事業については、県の農林漁業担い手育成財団の支援センターなどに相談窓口があり、弁護士・税理士・企業診断士などの相談もできる。今後、調査研究を行い、農業委員会やJAなどと連携したい。



持続可能な農業へ



延原正憲(のぶはら まさのり)議員

質問

美岡道路関連事業で地域活性化を

答弁

地域発展に全力を挙げて取り組む



問 飯岡地区では県が実施する美作岡山道路事業および町が実施する滝谷川改修事業や遊水地整備事業さらには飯岡コミュニティセンター建替事業などの公共事業が集中して実施されている。①これら関連事業への取り組み姿勢を問う。②地元要望への対応システムは有効に機能しているか。③飯岡コミュニティセンター完成までの災害避難所への対応策はあるのか。

答 青野町長 ①本町の東の玄関となる美作岡山道路事業は、用地買収も77%完了し、本格的に工事が開始されることになった。関連事業も工事が進められており、地域住民のご理解と地権者の協力に感謝すると共に、地域発展のため、早期完成に向けて強力に押し進めて行く。

答 神坂柵原総合支所長 ②役場内に調整会議を設けて情報共有と対応策を調整する体制を構築している。

答 水島くらし安全課長 ③一時的避難場所については、月の輪プラザや公会堂などで対応したい。



早期完成を目指して

質問

集約化事業後の跡地活用計画は

答弁

民間活力などの調査研究を行う



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員

問 ①賢く収縮するまちづくりの関連として公共施設集約化事業が進められているが、事業完成後の跡地活用計画の基本的な方針は。②公共施設除却解体の進捗状況は。跡地活用計画について関係者の意見集約と説明機会の考えは。③跡地活用計画に関する当初予算への計上は検討しているか。

答 青野町長 ①跡地については、地域活性化に活用可能な土地を除いて、民間企業から意見や提案を募るサウンディング調査など売却の可能性を

答 光嶋地域みらい課長 地域活性化に資する跡地については、官民連携の導入へ向け調査研究を行う。

答 前田理財課長 ②令和8年3月末を解体工事終了予定として取り組んでいる。民間企業と関係者の意見集約を行い住民の意向が反映でき、地域活性化が可能となるよう検討を行う。

③予算計上については売却に際しての業務委託などの予算を適宜計上していく。



町の財産の有効活用を



三船博之(みふね ひろゆき)議員

補助金の見直しは進んでいるか

質問

効果を検証し不断の見直しを図る

答弁



問 補助金交付団体に対して、事業実施に伴うものではなく、運営面に対する補助金はいかがなものか。

答 本町では、「賢く収縮するまちづくり」を進めるために行財政改革審議会において、補助金の在り方や組織の見直しなどの方向性について審議し答申を

答 青野町長 本町では、「賢く収縮するまちづくり」を進めるために行財政改革審議会において、補助金の在り方や組織の見直しなどの方向性について審議し答申を

いただいている。補助金は、いったん始めると既得権化し、見直しが難しくなる傾向にある。

貴重な財源が有効に活用されるよう、補助金の必要性や利用状況、効果などを検証し不断の見直しを図り、地域課題の解決や住民の幸福度の向上に努める。

答 前田理財課長 補助金は貴重な一般財源から支出しているため、公益性という点を十分注視し、目的を精査しながら担当各課と連携して今後も見直しを進めて行く。

補助金は
貴重な町の財源
公益性の元
有意義に
使ひましよう

こども家庭センターの設置を

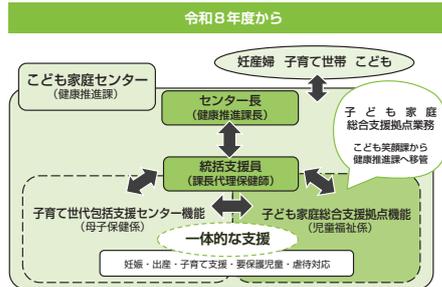
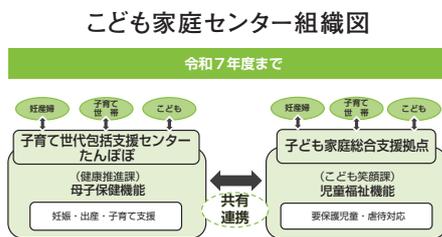
質問

令和8年度設置に向けて取り組む

答弁



山本 資(やまもと たすく)議員



問

国では、子ども家庭庁において、「こども家庭センター」の設置を努力義務として位置付けている。

本町も充実した支援を実施するために、こども家庭センターの設置を視野に入れた取り組みが必要ではないか。

本町の子ども・子育て施策や支援体制の現状、その課題を十分に分析、評価する必要があると考える。現状と課題についてどう把握しているか。

答 青野町長 児童福祉法の改正により、令和8年度

正により、令和8年度

答

本町も子育て支援を推進しており、職員一丸となってその実現に向けて取り組んでいる。

本町も子育て支援を推進しており、職員一丸となってその実現に向けて取り組んでいる。

本町も子育て支援を推進しており、職員一丸となってその実現に向けて取り組んでいる。

本町も子育て支援を推進しており、職員一丸となってその実現に向けて取り組んでいる。



松田英二(まつだ えいじ)議員

質問

道路維持管理の予算拡充が必要



答弁

最適な管理体制の在り方を検討する

道路維持管理作業業務委託
要望・行政相談 年度別数値

年度	件数	金額
令和3年度	350件	4,049万円
令和4年度	275件	4,253万円
令和5年度	401件	4,265万円
令和6年度	438件	4,484万円
合計	1,464件	1億7,051万円

問 本町では数年前から道路管理の業者委託が行われている。各地域の人口減少や高齢化に伴って作業依頼も年々増加している状況にあり、この事業に対する期待は大きくなっている。

答 林田建設課長 要望や行政相談における道路に関する

問 住民の関心は年々高まっており、地域の期待にこたえることは重要と認識しているが、人件費や資機材の高騰に苦慮している現状もある。

答 米本産業観光課長 今後、次期契約に向けて最適な道路管理の在り方を検討していく。

問 米本産業観光課長 危険木除去について各自治会からも多くの要望が寄せられている。

答 林田建設課長 全ての要望に対応することは困難だが来年度以降は関係各課と連携を密にして予算の増額も視野に入れた検討を進めていく。

質問

農機具購入への補助金創設を



答弁

事業の有効性など慎重に検討する

江原一夫(えばら かずお)議員



地域に合わせた支援を

問 今回発表された農林業センサスによると基幹的農業従事者は、約102万人で前回調査と比べ約34万人(25%)減少した。燃料や肥料など資材価格の高騰や猛暑を背景に生産現場の環境は厳しくなっており、高齢者を中心とした離農や廃業が加速している。農業経営の安定と効率化を図るために導入したスマート農業推進事業補助金の利用状況はどうなっているか。

答 米本産業観光課長 ドローンを活用した農薬散布には42人

の申請があったが、農業機械導入事業についてはまだ申請はない。作業の効率化に つながる先端技術の導入が急がれるが、スマート農業機械導入事業以外の支援補助金の創設ができないか。

答 米本産業観光課長 農業機械の導入に関する支援は、農業の生産性向上や効率化にとって重要であると認識している。

問 他の事業とのバランスや支援事業の有効性さらには財源の確保などを総合的に考慮しながら慎重に検討する。



板垣正寿(いたがき まさとし)議員

質問

通学路の安全確保の徹底を

答弁

関係機関と情報共有し対応する



問 現在、新庁舎移転、義務教育学校建設、町内道路工事などによる通学路の変更もあり、注意喚起や道路状況の徹底的な情報周知など通学路の安全確保の徹底が必要である。

「美咲町通学路交通安全プログラム」について、旗振り役はどの課が行っているのか。

答 結石教育総務課長 教育総務課が旗振り役となっている。

PTAから提出された要望をもとに、通学路交通安全対策推進会議を開催し、国・県や美咲警察署の関係機関



通学路はより安全に

と本町において情報の共有を行っている。プログラムの実施により、計画的な対策をお願いしている。

問 プログラムの実施について、5年に1回の実施では通学路の交通安全確保の徹底につながる。

PTAの要望に沿って1年ごとにプログラムを実施することはできないか。

答 結石教育総務課長 開催期間の見直しを行うなど、より効果的なプログラムとなるよう検討する。早ければ来年度より実施ができるよう検討する。

質問

指定管理料の整合性は

答弁

適正な管理体制の構築を行う



大天嘉行(だいてん よしゆき)議員

問 合併20年たった現在、特に類似施設や指定管理料など旧3町との整合性は図れているか。

答 前田理財課長 指定管理料金については、規模、設備、利用状況などの違いから同一規模の施設でも指定管理料が異なっている。

管理内容や決算状況などについては、報告書を基にヒアリングを実施して適正な執行が図られているか確認している。今後も担当部署と連

携しながら適正な管理体制の構築を行う。

問 光熱費や清掃料などを十分考慮した使用料となっているか。今後、光熱費などを考慮した見直しの予定はあるのか。

答 前田理財課長 受益者負担の原則、算定方法の明確化、定期的な見直しサイクル、そして施設を利用する人の減対象範囲の明確化について、十分検討しながら早急に見直しの見直しを進めていきたい。



公共施設の維持継続を



藤井智江(ふじい ともえ)議員

質問

子どもの権利に関する条例制定を



答弁

美咲町子ども計画を推進する

問

子ども権利に関する条例は、計画と条例は同じだと考えるか。

計画を実行することで、子どもたちが尊重される社会が実現されると考えており子どもの権利条例の制定は考えていない。

答

須々木こども笑顔課長 子どもたち自身が権利について学ぶことや知ることは重要なことだと認識しているが、子どもの権利条約、子ども基本法、子ども大綱を踏まえ、美咲町子ども計画を策定しスタートさせたばかり。

問

子どもの権利に関する条例の制定はできないか。

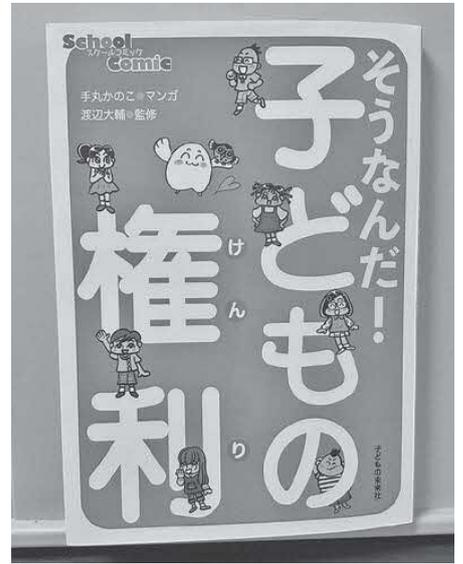
須々木こども笑顔課長

条例制定を避けるのはなぜか。

答

須々木こども笑顔課長 子ども権利に関する条例は、理念や権利の基本原則を示すもの。

子ども計画は、具体的施策の推進のための計画、行動指針であり、子どもの権利を尊重する視点も含まれている。理念的な内容に留まる子どもの権利に関する条例でなく、既存の法制度や子ども計画を通じて子どもの権利を十分保護できるものがあり、美咲町子ども計画を推進する。



みんなで学び共有を

- 京都府久御山町議会
- 京都府舞鶴市議会
- 佐賀県三養基郡町村議会議長会
- 兵庫県稲美町議会
- 大阪府南部地区議長会
- 奈良県安堵町議会

- 【議会広報視察研修】
- 【議会運営視察研修】
- 【議会運営視察研修】
- 【議会広報視察研修】
- 【議会運営視察研修】
- 【議会運営視察研修】

美咲町議会は、積極的に全国からの視察研修を受け入れています。全国の議会との意見交換を通じて、諸問題の解決策のヒントを得ています。

全国の議会が美咲町へ



◀三養基郡町村議会議長会▶

議会の活性化を進めるために

令和7年11月29日(土)に大正大学地域創生学部公共政策学科・江藤俊昭教授を講師に迎えて議会の活性化を進める方策についての議員研修会を開催しました。

長野県飯田市議会・岐阜県可児市議会・北海道別海町議会・愛知県犬山市議会など全国の市町村議会においては、さまざまな議会活性化策が展開されています。

その目的は、市政・町政への関心を高めて住民の政治参画を促す活動を進めることで、市・町全体の活力を高めていこうとする取り組みが求められています。



一般質問・議員間討議から政策提言へつなげる

議員の一般質問は、地域課題を認識し政治・行政の場に登場させ課題の解決策を提案するという面では最も重要な要素となる。政策実現のために質問を相対化させることも必要。

議員力の相対化

議員個人の一般質問を議会全体の質問とする手法が増加している。通告書をより質の高いものにすると共に答弁書の内容を全議員で共有することも検討課題。

議員力を議会力に変化

議案の内容を十分に把握し、疑問点を質していく質疑はチェック機関としての議員・議会としての重要な役割になる。政策のメリットとデメリットをしっかりと見極めるチェック体制の確立も考慮しなければならない。

議案質疑のチェック体制

提案された議案を審査していく過程で最も重視されるのがディベート、対話、熟議の[討議の3層]である。それぞれの議案審査において議員間で討議することが議会力の重要性を高めることにつながる。

討議の重要性

議会活動を住民に知ってもらうためには議会だよりの充実が必須。住民の声の掲載、一般質問の追跡調査、題名の名称変更、総合計画との関連、議会だよりのモニター設置、編集作業に住民や学生が参加などさまざまな変化も視野に。

議会広報活動の充実

多様性のある議会実現に向けて、住民アンケート、住民との意見交換、議会モニター、住民ゼミナル、模擬公聴会、住民フリースピーチ、住民まちづくり集会などの積極的な活用を進めること。

議会フォーラムの意義

議員力と議会力の相乗効果で政策サイクルを連動

議会の取組

❖ 議会の質問は、執行機関に対して自治体の行財政全般に渡って政策の提案を行うものであり、質疑は住民生活に必要な議案を審査するものである。今後は、それぞれの議員力を議会力に換えて相乗効果による政策サイクルの連動が求められている。

美咲町行財政改革の研修会

11月10日、美咲町役場において議員研修会が開催され、全議員が出席しました。美咲町行財政改革について、鳥取大学地域学部教授の多田憲一郎氏をお招きし、(1)これまでの行財政改革の取り組み、(2)行財政改革の現状と評価、(3)今後の行財政改革の基本方向についてご講義をいただきました。



選挙管理委員会との意見交換会

11月19日、議会フォーラム開催に向けて、フォーラムのテーマである「主権者意識の醸成と選挙投票率の向上」について、選挙管理委員会と意見交換を議会運営委員会で実施しました。他の自治体の選挙啓発や選挙公報の取り組みなどを参考に意見を出し合いました。



美咲町町制施行20周年記念式典への参加



11月9日、柵原学園にて美咲町町制施行20周年記念式典が開催され、全議員が出席しました。記念式典には来賓・招待客ら合わせて約370人が出席し、盛大に執り行われました。それぞれの分野で町勢向上に貢献された皆さまへの表彰、美咲町20年のあゆみをまとめた記念映像の上映、児童生徒による未来へのメッセージの発表がありました。

大阪府岬町議会との友好交流協定締結式



11月9日、柵原学園にて美咲町町制施行20周年記念式典終了後、大阪府岬町議会と本町議会との友好交流協定締結式を行い、全議員が出席しました。両議会は、議会活動はもとより、産業、経済、観光、防災、福祉、教育、文化、スポーツなどの幅広い分野において友好交流を進め、お互いの理解と連携を深めることにより発展と繁栄に努めることを確認しました。

令和7年美咲町「二十歳のつどい」



令和8年1月11日(日)に「美咲町二十歳のつどい」が、あさひなた多目的ホールで開催され、議員が出席しました。

令和7年度に美咲町内で20歳を迎えられる対象者は、平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた130人(男性72人、女性58人)で、当日はこのうち100人が式典に参加されました。

華やかな雰囲気の中、逞しく成長された20歳の皆さんに町長・議長からそれぞれお祝いの言葉が贈られ、二十歳のつどい実行委員の小林駿介さんが代表して誓いのことばを述べられました。

選挙に行こう!

～ 高校生の選挙イメージ ～

美咲町議会フォーラムに参加していただいた美作高校英語ユネスコ部の皆さんに、選挙についての意見をうかがいました。今回表紙を飾っていただき、ありがとうございました。

立候補者を選ぶとき、何を基準に選べばよいのか。



森尾友紀さん
(1年)

政治は別世界のように選挙に行く意義を見出せない。



寺坂太志さん
(1年)

家族で政治番組を見ながら政治討論をよくする。



松尾哲汰さん
(1年)



細川詩太さん
(2年)

18歳が近づくとも積極的に政治を知る必要がある。



若林秋さん
(1年)

テレビを見ないので選挙の情報が入ってこない。



竹本詞奈さん
(1年)

選挙は厳格に粛々と行われ、自分とは少し距離を感じる。



岡田唯知花さん
(1年)

選挙によって社会が変わるので、投票に責任を感じる。



坂手智勇さん
(2年)

選挙の情報をネットで簡単にチェックできたらいい。

令和8年3月定例会の予定

令和8年3月に予定されている美咲町議会定例会は

- ◆3月2日(月)開会～3月19日(木)閉会の18日間
 - ◆一般質問は3月3日(火)～3月4日(水)の2日間
 - ◆予算特別委員会は3月11日(水)～3月16日(月)の実質4日間
- (なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



町民の皆さんこんにちは

このコーナーでは、現在美咲町が取り組んでいるニュースポーツについて特集します。ニュースポーツとは、誰でも気軽に楽しめることを目的に考案されたスポーツです。ルールがやさしいことや、子どもから高齢者、障がいのある人もない人も楽しめることがニュースポーツの魅力。また、激しい動きをしない競技が多いため、普段運動をしない人や、運動が苦手な人にもおすすめです。美咲町はニュースポーツの普及を目指しています。

みさキッズニュースポーツ体験事業 第2回

スポーツ名：ほうるんビンゴ



●どんな内容ですか

津山市発祥の新しいニュースポーツです。2、3種類の玉を投げ、タテ、ヨコ、斜めのいずれかに3個以上の玉が並んだ時、得点となります。5個並ぶとビンゴで高得点となります。

●どこで開催しましたか

月に1回、みさキッズあさひで開催しています。各地域で広く行われています。

●参加対象は誰ですか

主に旭学園の1～9年生です。

●活動で大切にしていることは何ですか

ニュースポーツをいかに楽しむか、「楽しく」「面白く」「気楽に」行うことで、仲間づくりやふれあいを「継続」して楽しむことです。

●どんなところが特徴ですか

ルールがやさしく、年齢や体力にかかわらず自分のペースで、誰でも楽しめるのが特徴です。

●運営は誰が行っていますか

美咲町スポーツ推進委員が運営を行っています。

編集 後記

昨年、町制施行20周年の年でしたが、令和8年からは次のステップに向けて新たにスタートする年になります。

今回の特集ページには、議会が新たなステップに向けて取り組んだ第1回美咲町議会フォーラムの内容を掲載しています。

「投票率の低下は自治体の衰退につながる大きな危機」と題した大学教授の講演、住民を中心とした意見交換会、参加者の意見などをまとめていますので是非ご覧ください。

今後も積極的に議会活動の充実を図り、議員力・議会力の向上を目指します。

(江原記)

広報・広聴常任委員会

委員長 板垣 正寿

副委員長 松田 英二

江原 一夫

三船 博之

山本 資

藤井 智江